

京都御苑の秋の訪れを感じる

虫の音を聴く 文化を学ぶ鑑賞会

令和6年

8月①23日(金)
②24日(土)

18時半～20時

受付 18時～

集合場所 京都府庁旧本館旧議場

講師 岩井大輔氏(公財)日本生態系協会

内容 18時半～講演「鳴く虫文化」生物多様性のめぐみ
19時～移動・京都御苑にて鑑賞会

対象 小学5年生以上(小学生は保護者同伴)

*①②の日程とも、同様の内容です。
*雨天の場合は、京都府庁旧本館旧議場において、録音した虫の音の鑑賞などを予定しています。



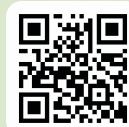
「虫は鈴虫。ひぐらし。蝶。松虫。きりぎりす。はたおり。」

平安時代から貴族の優雅な遊びとして鳴く虫の音が楽しまれていました。江戸時代には竹細工の籠に入れられたマツムシやスズムシが売られ、庶民も鳴く虫を身近に置いて愛でていました。

古から続く鳴く虫の文化と生物多様性のつながりを学び、虫の音を通じて、移り行く季節を感じる一夜を過ごしませんか？

主催 京都府・きょうと生物多様性センター
問合せ 京都府自然環境保全課
Mail : shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp
Tel : 075-414-4706 FAX : 075-414-4705

< 申込 ↓ >



申込方法

以下の内容を上記連絡先(メール・FAX)にてご連絡ください。

件名: 「鳴く虫鑑賞会申込」

本文: 名前、同伴者名、学生の場合は年齢、連絡先(電話番号、メールアドレス)

参加費
無料

定員
各回20名

要申込
(先着順)

